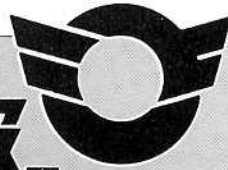


保育園からこんにちは

ふゆやすみ

やすえたかまさくん (6歳・栃山)
越原保育園



No. 336 2/15



広報
ひがししかわ

発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
■☎(0574)8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社

ひとみ
平成に輝く瞳

目は心の鏡……囲りの温かさに包まれ、のびのびと育つ子供たちのひとみは、いつも光り輝いています。

自然に触れ、伝統行事に触れながら、平成に変わりゆく村の姿を澄んだまなざしで見つめる子供たち。



東白川小学校書き初め会にて

人口の動き

—1月末住民登録人口から—
世帯数……………916世帯
人口……………3,564人
転入……………6人
転出……………7人
出生……………4人
死亡……………6人
先月と比較して3人減
昨年の同月と比較して13人減



陰地下地区の右義長にて

平成へ 託して



戦争を抜きに昭和は語れない

昭和の時代が終りました。新しく迎えた平成元年は、ちょうど東白川村立村百年にあたります。その百年の歴史の中で、戦争から平和へのドラマを持つ昭和という時代は、その戦争さえ知らない年代が村の人口の三分の二を占めるといふ現実をみると、あらためてその重さを感じさせてくれます。

村民の皆さんの感想を老人クラブ連合会発行の「白寿」の中の記録に捨いながら、平和のありがたさを考えてみたいと思います。

昭和の幕明けは不況だった

好景気の中で迎えた平成への移り変りと違って、大正から昭和への移り変りは、暗い時代を予感させるような不景気の中で迎えられました。

新しい年号「昭和」にこめられた人々の夢を砕くかの如く、景気はしだいに悪化し、大恐慌へと進んでいきました。

平の安江写真真館のおばあさんに話をうかがってみました。

「昭和五年当時の生活水準は体をいいかというほど使って得た日当が、約三十銭から四十銭ほど。これを受け取って、その日の米一升分(二十三銭)とサンマ三匹(一匹二・五銭)を買おうと、家へ持って帰る現金がないほどで、やっとの思いで一日

を食べつなぎ、とても生活用品を買うような余裕はなかったんやわサ。」

この大恐慌の波にあえいでいた日本は、しだいに戦争の泥沼へ入っていったのです。

昭和六年、満洲事変と上海事変が始り、村から八人の若者が戦場へと駆り出されました。

そして昭和二十年八月十五日の終戦まで延六百七十人余の村人たちが戦場へ送られ、百八十人もの尊い命が失われたのです。

「野営を重ねてビルマ北部のマンダレーに着き、いよいよ明日は本隊到着という日、迎えるの車輛の上で敵機の銃撃に会い、十二名の戦死、重傷者を出しました。戦友の遺骨を胸に抱いて本隊に着いた」下親田の安江和夫さんの手記です(白寿17号)へ

歌舞音曲と行事を自粛

「天皇陛下は一月七日午前六時三十三分、十二指腸部の線(せん)がんのため、皇居・吹上御所で崩御されました。お年は八十七歳でした。」

天皇陛下ご逝去の報が流された一月七日朝、役場では始業間もなく課長会議を開き、今後の対応策について打合せを行うとともに、正面玄関前に弔旗を掲げました。

その日 村の表情

打合せの結果、(1)崩御の日(一月七日)を含め六日間弔旗を掲揚すること

(2)歌舞音曲を伴う儀式及び行事についても同じく六日間差し控えることになりましたが、期間中の行事は無く、有線放送のみ音楽をとりやめました。

また、有線放送により村民村内の記帳所は、神田神社一か所に開設され、越原神社と五加神社には、それぞれ遙拝所が設けられ、雨のなか大勢の皆さんが、記帳と遙拝に訪れました。

対して、二日間弔旗を掲げ申意を表していただくよう呼び掛けを行うとともに、小中学校へも弔旗の掲揚・始業式での講話と黙とうを連絡し、学校行事は校長の判断にゆだねた。

午前十一時、一分間の庁内黙とうを捧げ、平常の行務をそのまま続けることになりました。

雨に清められ静かな幕明け

平成元年を迎えた一月八日は、白川が増水するほどの強い雨に見舞われたことと、日曜ということもあって、平の商店街は人通りもなく静かな時代の幕明けとなりました。



平成元年一月二十二日午前三時八分、東白川母子健康センター 平成生れの第一号はかわい女の子、井上ちとせちゃんでした。

お母さんは神土大口出身のさよこさん(川辺町在住)でした。

井上ちさとちゃん

橋渡し



昭和37年当時の役場前（農協スタンド竣工）



昭和元年当時の役場前正面

昭和から 平和を

もはや戦後ではないのか？

戦争が終っても、真の平和はまだ遠かった。

「甘薯の茎をとって、雑炊の中味に山盛り入れたり、砂糖気の無い煮豆を出した……」安江節子さん（下親田）

「雑穀に山の木の若芽、野の草などを補いつつ、砂糖、塩などはブローカーから手に入れ、又は農作物と交換でした。」小池いちのさん（西洞）と、終戦後間もないころの主婦の苦労話は尽きません（白寿17号）

塩にまつわる話では、河田勲市元村長が「昭和二十一年愛知県明石三郎氏から製塩の権利を譲り受け、幡豆郡吉田町に村営の製塩所を開設し自給製塩に着手した。太平洋の海水が白い塩となって送り届けられた時は感無量で、今でもうれしい思い出の一つです」と語ってみえます。

健康の村宣言が行われたのは昭和二十六年七月のことでした。戦後の苦しい生活の中で、村民は結核をはじめ、次々と病気にたおれて行きました、これではいけない、健康こそ復興の原動力なのだ、議会の同意を得て行ったこの宣言によって、東白川村の健康行政はスタートしたのです。

昭和三十四年当時の神戸小学校が遂に健康優良校日本一の栄誉に輝きました。

「全国の優良校代表が集ったところで天皇陛下のおほめの言葉を賜り、全員感激頭の下る思いで、実に光栄でした」と、当時PTA会長、平の栗本勇さんの思出の一章です。（白寿18号）戦後日本の大変革のひとつであった「農地解放」は地主から農地を小作人に移すという大事業で、この委員長に選ばれた中谷の田口良三さんはその苦労を白寿17号の中に記されており、

神付の安江正文さんもこの農地解放にふれながら、今進められている土地改良事業について「実施された地域を見ますとき田畑の姿は止めず、真新しい耕地に変貌して、まさに新天地を見るように感じます」と感想を述べてみえますが、その新天地のように整備された村の姿が平成元年を迎える今の東白川村を象徴しているのかも知れません。

昭和六十余年間の激動を通じて築いて来た平和の中にあつて、中村瀧光さん（平）の言葉をかみしめたい。

「時は寸秒も休まず、文化も限りなく進歩する。社会の実状も変化の中で、心の余裕を失いつつあるのではないか……」



時代の

安江翔馬くん

わずか七日間だけとなった昭和六十四年、東白川母子健康センターでの六十四年生れのしめくくりは、一月二日午前三時五十八分に生れた安江翔馬君、（下親田安江忠広さん、成子さんの長男）でした。

お年寄りとのコミュニケーション 便利な昭和読み替え表

（東京の物価）

23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5年	昭
コーヒー一杯	映画館入場料	ビール	ビール五本	旅館一泊				報償一杯	報償一杯	文明堂カステラ	万年筆四、五本	旅館（二人一泊）	間借り（六畳）	学生服	盆栽松竹梅	大工百当（五人）	金二匁	米二俵	①10円の価値
二五〇	一〇二	三〇	八	五	三・五	二・六	二・六	二・四	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	一・五	清酒
二〇〇〇	一〇〇〇	三五〇	一五〇	七五	七五	七五	七五	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	七〇	七〇	五〇	六〇円	③給与
元年	50	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	昭
キヌパール一粒	ラムネ菓子五コ	画用紙一枚	ろうそく二本	古新聞一紙	ノリ一枚	おでん一本	焼きいも一本	豆腐一丁	アンパン一個	おしんこ	焼きとり一串	タコ焼き三コ	鉛筆一本	キヌパール八粒	リンゴ一個	郵便封書	コロツケ一個	牛乳一本	①10円の価値
二三八〇	八〇〇	五一〇		四八五	四六〇	五一〇	四九〇	五〇五	四九〇	五二〇	五二〇	五二〇	五〇五	五〇〇	五八〇	五四六	五一八	六四五	清酒
一五八〇〇〇	八五〇〇〇	二三〇〇〇	二二〇〇〇	一九五〇〇	一九〇〇〇	一八〇〇〇	一六〇〇〇	一五〇〇〇	一三〇〇〇	一三〇〇〇	一一〇〇〇	一一〇〇〇	九〇〇〇	八〇〇〇	五〇〇〇	四五〇〇	三五〇〇	三〇〇〇	③給与

・単位一円・
①10円の価値
②清酒二級一升単価
③初任給月給（大卒）

立村百年にビッグなプレゼント

ふるさと創生事業

ふるさとづくりに一億円/昨年の秋ごろから新聞紙上を賑わした「ふるさと創生事業」が、ようやく動き出しました。

地方自治体が自分で考え、実行するふるさとづくり事業に対して、一律に一億円を交付しようというものです。

とは言いながら、それなりの制限も設けられており、村では三月に開かれる議会定例会などを通じて、計画を検討します。

地方こそ主役!

村では昨年、立村百年を記念する事業のアイデアを、村民の皆さんから募集して来しました。その結果、合せて百七十もの提案をいただきました。

そのほとんどが、単に百年を祝うお祭りではなく、これを契機に、何とか東白川村を発展させたいという熱意のあふれたものばかりでした。

そして、年が変って平成元年を迎え、東白川村立村百年は、新しいふるさとづくりへの、名実あわせの出発の年となったわけです。

平成元年 あなたは二十歳

四人の男女が出席しました。

記念式典では、村から成年証書と記念品が贈られ、桂川村長から「新世紀への限りない夢とロマンを描き大いなる人生観をもって、若者らしく頑張ってほしい」と、若い情熱に期待する

今年の成人式は、東白川村母子健康センターの開所とともに産声をあげた、昭和四十三年四月二日から昭和四十四年四月一日までに生れた男二十八人、女三十三人、合せて六十一人が対象となり、八九割にあたる五十



大学で勉学に勤しむ今井美道さん(中通)

激励のあいさつに続き、新成人を代表して下親田の安江文字さんが、力強く誓いのことばを述べました。

この日新成人に配られた資料の中には、村内就職を呼び掛けるパンフレットが入れられていました。今回の対象者六十一人のうち、十九・七割にあたる十二人が村内就職をしています。また、平成元年の記念すべき成人式について、神付の今井美

劣等感を抱いて来ました。中央は地方より、そんなに偉らかったのでしょうか。そうではありません、地方も中央も同じなのです。これが「ふるさと創生事業」の精神です。

ですから地方がその発展のために自分で考え実行するのは、あたりまえのことであり、経済の力が集中している中央は、それを援助するのも、また当然のことです。

成人式

人式

道さんは「平成という新しい年に成人を迎えられてとても光栄です。これからの時代を担う僕たちが、平成という年の平和を築いていきたいと思えます」と頼もしく語ってくれました。そしてもう一つの記念すべき



村内に就職している安江和代さん(陰地)



■戸籍の窓 十二月十六日から一月三十一日現在 敬称略

誕生おめでとう
ごさいます

- (神付) 安江 宏 (礼)
- (柏本) 安江 眞理子 (長女)
- (陰地) 田口 喜一 (長女)
- (柏本) 安江 一夫 (ゆかり)
- (陰地) 田口 喜一 (史武)
- (柏本) 安江 聡子 (二男)
- (陰地) 田口 喜一 (由美子)
- (下親田) 安江 忠広 (翔馬)
- (下親田) 安江 成子 (長男)



いつまでも
おしあわせに

- 安江 久光 (大明神)
- 桂川 ゆり (大明神)
- 島倉 宏之 (平)
- 熊澤美喜子 (加子母村)



おくやみ
申しあげます

- 石神ふくへ 74歳 (平)
- 村瀬イツエ 77歳 (平)
- 桂川 正一 73歳 (陰地)
- 安江 ひこ 84歳 (平)
- 今井 好夫 93歳 (大沢)
- 山本 以志 73歳 (宮代)
- 安江きょう 93歳 (日向)

■善意の寄付 敬称略
〔病院医療施設指定寄付金〕



安江文子さんの言葉を誓う

立村百年について、村内就職者の安江和代さんは「明るい村づくりに自覚ある行動で望みたい。また、大岩裕尚さんは「僕たちが先頭に立って住みよい村にしたい」と話してくれました。そして、今なお母子センターの現役助産婦を勤める平の安江とくよさん(88)は「今度はあなたたちのお子さんの番ですよ」と今日の日を我子のように喜んでみえました。

〔大口〕今井芳秀・村雲憲・今井早百合・今井寿子・田口ひさみ
〔平〕石神直弘・今井公彦・大岩裕尚・中山智孝・安江繁文・安江敏之・田口功美・村雲祐子・安江正美・安江みはる
〔下親田〕安江章浩・安江範・伊佐治美奈子・伊佐治美和・安江文子
〔上親田〕安江一也・安江亜子・安江優子
〔中通〕村雲加寿美
〔神付〕今井美道
〔加舎尾〕安江利修
〔西洞〕今井剛・小池豊・今井裕里・田口奈巳江・安江裕美

〔曲坂〕菊田英俊
〔日向〕牧野勇三・安江広和・安江祐司・安江郁子・安江志保
〔陰地〕後藤好史・佐藤克行・松岡司・安江友博・安江祐司・今井邦子・松岡佐和子(旧性今井)
〔安江〕郁美・安江和代
〔栃山〕笹俣光治・安江裕美
〔黒瀨〕安江えみ・安江みのり
〔大〕明神)安江重幸・嶋倉さゆり
高井純子・松岡愛
〔粕本〕今井邦治・栗本雄二・今井昌子
今井和子・栗本美恵子・交告奈津子
〔下野〕安江ほずみ

心ひき締めて防災の決意も新たに

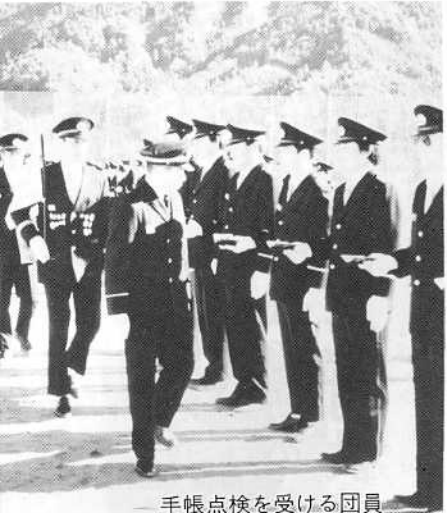
消防団出初め式

新春恒例の消防出初め式が一月五日、東白川小学校運動場で午前十時から行われ、可茂県事務所長をはじめ多数の来賓を迎えて、この一年の防災への誓いを新たにしました。

当日、表彰を受けたのは次のみなさんです。敬称略
〔県知事表彰(功労章)〕▽副団長 古田公平・今井直美
〔可茂県事務所長表彰(功労章)〕▽分団長 安江健二・今井章

長 田口眞澄・田口和志・内木眞佐勝・今井芳行
〔同(勤労章十五年)〕▽副団長 安江美好・今井直美
〔同(勤労章十年)〕▽分団長 新田鈴一
▽副分団長 内木眞佐勝・今井芳行
▽部長 古田義隆・安江恒夫
▽班長 今井利文
〔賞記(第三十七回岐阜県消防操法大会出場)〕▽団員 安江正好・村雲晴夫・村雲章・村雲史朗・田口喜章

〔団長表彰(功績章)〕▽部長 安江昌昭・安江雅明
▽班長 安保泰男・今井明生
▽団員 小池謙多郎・田口安範・安江義文・安江友則・安江誠・安江好弘・熊崎昭彦・安江清造・早瀬忠司・村雲晴夫・樋口孝祐・今井明德・安江弘武・安江雅彦・田口昌克・安江道雄・安江透守
▽班長 正敏・五斗貢・牧野友紀央・村雲成男・桂川一喜・桂川公幸・長谷川正利・村雲佐江樹・早瀬尚史・安江良治・伊藤保夫
▽部長 江任弘
〔同(勤労章)〕▽部長 安江芳雄・古田俊之
▽団員 島倉宏之・中島泰幸・額英雄・長尾政文・安江秀利



手帳点検を受ける団員

〔岐阜県消防協会長表彰(功績章)〕▽副団長 今井武司
▽分団長 今井建夫
〔加茂郡消防協会長表彰(功績章)〕▽分団長 新田鈴一
▽副分団長 芳雄

〔村長表彰(功労章)〕▽副分団長 田口和道
▽部長 田口邦久・古田明雄・今井嗣尚・村雲正幸・今井光・安江寛・安江芳雄

〔工事入札結果の公表〕
①は入札期日②は落札金額
および落札業者
◇前山線道路災害復旧工事
①一月九日②百六十万円
山田土建(株)
◇岩倉二号線道路災害復旧工事
①一月九日②四百四十五万円
円・榎マルト土木
◇大林洞農道災害復旧工事
①一月九日②百万円
◇防火水槽建設工事(二基) 神付・中通
①一月二十五日②五百十万円・新田建設

- 〔文化財保護事業指定寄付金〕
現金千六十五円―滑地蔵尊閣係者・現金千円―中通交通全碑
〔交通安全指定寄付金〕
現金千六十六万六千二百六十六円―神土校誌わが神土
〔神土保育園へ〕
電動ミシン一台―安江久江(平)
〔東白川小学校へ(労働奉仕)〕
庭木のせん定作業二日―寺坂五郎(下野)・今井正三郎(西洞)



間伐材、正月飾りに祈願感謝の祝詞奏せ

火の木どんど

全国で初の

間伐材供養祭

「ヒノキは神宿り坐す神木といわれます。一本のヒノキの柱が出るまでに、その数倍のヒノキが間伐され、山中に朽ち果てているのです。東濃ヒノキの名声の陰に淘汰された間伐材にも、神霊も心願も宿していると思う時、その恩恵を換かる私たちは、ヒノキの慰霊感謝、祈願を込めて昇華の誠を捧げてこそ、東濃ヒノキの名声があるのです。このような趣旨と呼びかけで一月二十二日、ヒノキの間伐材を集めた慰霊式「火の木どんど」が開かれました。

火付け後は青年団体連絡協議会
午前十時、さわやかな青空が
広がった五加下野の名古屋商科
大セミナハウス横の
会場には、全国初の
間伐供養祭、火の木
どんど」のネーミン
グとユニークさに誘
われて、村外者約三
十人を含む三百人強
の観衆が訪れ、初回冬期観光イ
ベントとして好調な出足を見せ
ました。



火

会場には、高さ約十五メートルのヒノキの間伐材をしん棒にした左義長と、祭壇が設置されており、左義長の山の骨組みにも、二トトラック一台分のヒノキが使われま



燃え盛る左義長・見入る観衆

続いで間伐材をはじめ届けられた正月飾りなどに祈願感謝を込めた祝詞が奏上され、桂川村長ほか村外者を代表したふるさと会員の玉串奉奠など、古式にのつとった神事に清められました。そして祭壇の灯明の火を、神主の手から三本の松明に分火し、三人の参員が左義長の四方から厳かに点火すると、観衆から温かい拍手が送られ、取り囲んだ写真マニア数十人が、シャッターをしきりと切っていました。



ふるさと会員 村長
バザー・ふるさと市含めて
売上三十万円也

梶原拓新知事に平成のかじ取り期待

平成時代のかじ取り役を選ぶ岐阜県知事選挙の投票が一月二十九日に行われ、梶原拓新知事が誕生しました。

午前六時、サイレンの吹鳴とともに村内五か所の投票所では、県民の暮らしを託す投票が一斉に始まりました。この日は、天候に恵まれたものの朝方の冷込みは厳しく、投票率が心配されていました。午後からは気温も上がり、午後一時現在の投票率で前回を四・三割上回る好調な出足をみせていました。

午後六時現在の最終投票率は八十一・〇六割と、前回を五・二二割上回りました。そして午後七時、村民センター大集會室で開票作業が始まり、午後八時十分投票結果の確定が発表されました。確定数字では、前日有権者数二千五百七十一人の内、投票数二千二百三十票、有効投票二千九十三票、無効三十七票となりました。

候補者別には、梶原拓候補千七百五十一票・岡本靖候補三百四十五票・児玉淨司候補九十七票となり、県全体では五十四万二千九百六十三票を獲得された梶原拓候補が、当選となりました。

「日本一住みよいふるさと岐阜県づくり」に向けて、県民の大きな期待が寄せられています。

清流白川を愛して、九十年

みなさんは、もう気付かれていますか。

東白川病院前から上流約百メートルの河原に築っていたヤナギやスキが、日を追うごとに姿を消し、触れることのできなかった岩や、眺めることのできなかった白川のせせらぎが、今年もその姿を取り戻しています。

昨年暮までこの場所は、わずか一年に伸びた雑木によって美しい



わしの夢はあそこにも広場をつくることじゃ (横瀬橋下)



を渡って作業に

届けられた正月飾り。ミカシノ三種分



串に刺し、顔を真赤に染めた。

スケールの大きさに見入る観衆

着火とともに、ヒノキの葉がバチバチと音を立てて燃え盛り、時折り放つ竹の割れる快音、そして入道雲のような煙が巻き起った風に乗って空高く舞い上がると、「オウー」という喚声とともに絶賛する声が飛び交い、約一時間余りその場を動く人もなく見入っていました。



準備中餅焼き寄せておほ

午後

からは 檜茶太鼓の皆さんと 恵那市の民俗無形文化財に

指定されている浅間七福万才保存会の皆さんらによって花が添えられました。

万才も終了したころ、左義長の炎もおさまり、ふるさと市で買求めた餅を、用意された竹



て染め赤をほ

ながら焼いているふるさと会員らの姿が印象的でした。

坂祝町から訪れた三品さんは「地元でも左義長を行っていませんが参加したことがなく、今日子供といっしょに初めて体験しました。とても楽しくて来年も是非参加したい」と話してくれました。

そのほか、村外から訪れた人たちにも、同じ感想を聞くことができ、次回イベントにつなぐ大きな成果を得ることができました。

郷土が生んだ県初の海外開発青年

全国二百人の応募者の中から、六・七倍という狭き門をくぐり抜け、岐阜県で初めの「国際協力事業団海外開発青年」として、下親田村雲次郎さんの次男健志さん（22歳）が、二月二十七日から三年間、パラグアイ国へ農業技師として派遣されることになりました。

移住先は、アルゼンチンとの国境に位置するエンカルナシオンから、六十歳ほど西へ進んだピボラという町の農協



握手と固い村長

一年間、横浜の研修所で学び、語学についてもブラジルで一年生活した経験もあって、日常語程度のポルトガル語とスペイン語を話すことができるそうです。どうか頑張ってください。

した。

昨年の夏まつり、ザ・五介に続いて、今回のイベントを仕掛けた青年団体連絡協議会（大坪勇司会長）は、更に眠る資源を掘り起こした、新しいイベントへ夢を広げています。



格別味は餅の義長左

は、更に眠る資源を掘り起こした、新しいイベントへ夢を広げています。

白川の景観が見えなくなっていたのです。

毎年この景観を甦えらせている人が、平の安江富郎さん。今年で満九十歳を迎えられます。



を桜に跡の刈り

「清流白川に美しい環境を与えてやりたい、太公望に心おきなく釣りを楽しんでもらいたい」という願いから、この清掃をはじめ八年が立ちました。かつては、ノコギリが主役でしたが、今で

は一本の鎌を片手に、毎朝九時から十一時までの二時間余り、杖を巧みに使いながらゴム長、ついで川を渡り、一本一本

ていねいに根元から刈り取っては束ね、最後に集めて焼いた灰は、肥料として袋に詰めて持ち帰り、午後からは畑仕事にと精を出してみえます。また美しくなった河原には、桜の木が植えられ、毎年洪水に遭いながらも昨年ステキな花を咲かせました。もちろん、川岸の清掃についても、一斗カンを六カ所に置き、常に美化に努めてみえます。今年も訪れる大勢の釣人を、白川はきつとやさしく迎えることでしょう。



の山のゴミで週一

シリーズ思いやりと暮らし Ⅱ その六 Ⅱ

『汗』つて正直

いろいろなときに出る汗。活動をするとき出てくる汗。それだけの活動をしないと出てこない汗。それだけ汗は正直です。田の仕事で休憩のとき、あまりにも熱いので水路の中に首まで突っ込んだが、水の中でも汗

が出た、ということを知ったことがあります。汗は本当に正直ですね。同じように心の中の汗も流したいものです。喜怒哀楽……。お互いに良い汗を流して、気持ち良い暮らしをしましょう。

歴史の証言・立村百年の記録（第十話）

皆さん、お風呂へ入る時にでも、ちよっと二の腕を見て下さい、種痘の跡があるでしょう。と言っても昭和五十一年生れから以降の人には無いはずですね。なぜならば、種痘が廃止されたからです。

へき地医療の苦悩の歴史

村で初めての
種痘は今から137年前

長い間人類を苦しめて来た恐ろしい病氣、**痘瘡**（天然痘）は、一七九六年（百九十三年前）イギリスのジェンナーが種痘を完成してから、一九八〇年に国連機関である世界保健機関（WHO）が根絶宣言を出すまでの百八十四年の間に、地球上から完全に姿を消したのです。

その種痘（入れ痘瘡と言われた）を私たちの村で一番最初にやった人は、神土村の医師安江養甫で、嘉永五年（百三十七年前）十月、近郷にさきがけて初めて行ったと言われている。

種痘が我が国に伝えられたのは嘉永二年であり、それからわずか三年、この山間僻地の村で行われた画期的な医療は、住民の間で「人民誹謗百端」これを疑ふて信ぜず」と、なかなか受け容れられなかったという。

痘瘡の恐ろしさは、伝染力が強く、時には一家絶滅という惨事も起こり、幸い治っても失明したり、醜いアバタが残ったといわれている。

そのため、種痘が普及する以前の村人たちは、痘瘡小屋を人里離れた山中に作って隔離したり、病氣平癒の願かけを行って神仏に頼るしか方法が無かった。

現在も村内各地に残っている「龍宮測」は龍宮伝説ではなくて「立願測」と呼ばれ、水垢離をとって願をかけた所であるという説があるくらいである。

種痘の例を



水深約3mの西洞龍宮測

とってみても、山間の村では医療というものが住民生活に実には大きな比重を占めていることが伺い知れる。

月に二千人余の健康を守る

健康を守る

医学の進んだ現代では、もはや「龍宮測」で水垢離をとることは無くなったが、それに代る現代の龍宮測は、さしずめ東白川病院ということになろうか。

今でこそ病院があること自体があたり前のように受けとられているが、戦後の食糧不足の中で村民の健康を守るために開設された公民館健康相談室が、今の東白川病院を生み出す母体であったことを、知る人も少なくなっている。

当時の安江新医師（博士）が担当した健康相談は、やがて診断治療を望む声が多かり、昭和二十四年十二月には一室を改造して「東白川村公民館診療所」を開設するところまで発展した。

そして住民の地域医療の充実を望む声はいよいよ大きくなり、ついに昭和二十五年十月、ほぼ現在の場所近くの白川製糸販売組合の施設を改造し、国民健康保険直営診療所を開設することになった。



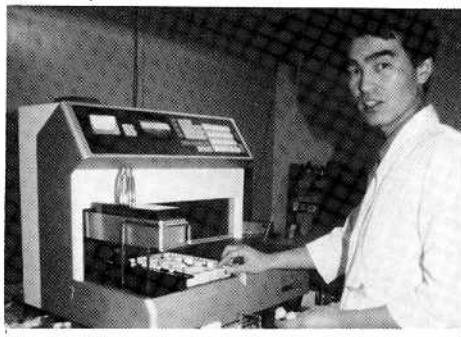
かげも、快適な施設でほがらかに治療

これが東白川病院の前身である。それから今年でちょうど四十年、診療所から病院へと、その歩みはまさに、苦悩する僻地医療の歴史そのものと言っても過言ではない。

特に医師の確保は歴代村長の最大の課題であったが、幸い優秀な人材に恵まれ、現在の岐阜県衛生環境部長の井口先生を始め、医師、看護婦、技師、事務局のスタッフが、地味で苦勞の多い医療業務に取り組んで来た。

今新しい課題として、昭和三十九年に建てられた診療棟の再整備を検討する時期を迎えているが、六十一の入院棟改築以来、利用も増加の傾向にある。

入院が月平均五百三十六人、外来診療が月平均二千人余という今年度の実績は、もしこの病院が無かったら……と考えたとき、村の健康を守る砦として、その重さを感じることが出来る。



最新血液化学分析機で念入りに健康チェック

夜中に往診依頼の電話が掛かると病室には重症患者。一人の当直医師と看護婦ではどうにもならない……心ならずも往診を断る苦しい胸の内……そんな出来事の繰返しは、かつて種痘を理解してもらえなかった安江養甫の苦勞に通じるものだろうか。

話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

— 連絡先 商工広報係 有線2155番



一月二十七日に放映された
中京テレビの撮影のようす



「安全運転よろしくお願いします」と運転手に花束が

こまどり号全車更新

「こまどり一号・二号・三号」のスクールバス全車が、このほど更新されました。

東白川小学校の開校を契機に導入されたスクールバスも、九年間大きな事故や故障もなく、園児・児童・生徒の通学通園の足として運行されてきましたが、老朽が著しいため交通安全面を重視して、今回更新することになりました。

一月九日、小学校では関係者

ツチノコ騒動におおわらわ

已年にあやかり、立村百年記念事業を盛り上げようと、昨年十二月三日に先陣を切って発足した「ツチノコ探そう会」は、

思い掛けないマスコミの取材合戦に連日の対応に追われていきます。

このツチノコファイバーの発端は、毎月記者クラブへ送り届けている広報紙（新年号）がきっかけとなり、一月十五日の毎日新聞全国版（日刊）の紙面を飾ってから、ツチノコブームが巻き起ったのです。

その後、会長（大坪信也さん）上親田）宅は、ひきりなし電話が鳴り続け、一日に十回を超

す問い合わせと、会員申し込みの対応におおわらわ。

続いて待ち受けていたのが、マスコミ取材のエキストラ役。新聞・ラジオ・雑誌・テレビとどまることなく続いており、地震に例えるならば、余震から今激震の波が押し寄せている感じです。

これまでに、新聞七社各一、三回。ラジオではCBC・札幌S.T.V・福岡放送・岡山放送らいずれも生放送で、そして週刊誌三社。テレビが中京テレビ三番組、NHK、名古屋テレビと続き、更に三月以降の取材も既に予定されています。平成に入

を迎えて安全祈願祭が取り行われ、続いて全児童と生徒代表によるスクールバスお別れ会を行って、新しいバスに無事故の記

心なごむボランティア活動

録をバトンタッチ。今回更新された三台は、国の制度事業により一部補助金を受けて、総額一千七百五十万円で購入。内訳は五十一人乗り二台と、二十九人乗り一台となっています。



訪れた人たちが見やすいよう、飾り方も工夫

「村民センターに訪れた人たちに、少しでも和やかな雰囲気触れていただきたい」と、手芸クラブ（田口薫会長）加舎尾の皆さんによる作品の展示が行われています。

展示されている場所は、三階ロビーで、アイディアを凝らした思い思いの作品十二点余りを常時展示し、季節に合うように、月一度クラブ員が出て掛け替えが行われています。

にふれあいたい」という入会者の声が届いています。

科学万能な時代に夢がなくなつたと言われる今日、懸賞金が目当てでなく「夢がほしい」「交流がしたい」という素朴な願いに、大坪会長は「夢を売りましよう夢を買いましよう」とこのブームが、村と町をつなぐ交流のきっかけになれば」と、五月に迎えるツチノコ探しに、意欲を燃しています。

って村は、活字と電波に乗って全国へ広まりました。

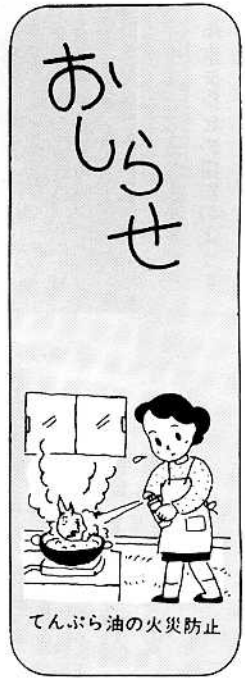
そして全国から寄せられている便りや、入会者の声には「わたしたちの村、町でも今年、大探険隊を募ってツチノコ探しを行う予定です、是非交流を」という奈良県の下北山村や、広島県の上野原町の便りをはじめ、「村の子供たちや、田舎の自然

昭和63年分所得申告相談日程表

月 日	対 象 集 落	備 考
2月16日(木)	宮代・大沢	
17日(金)	柏本	
18日(土)	下野(午前中)	◎ 相談会場 村民センター
20日(月)	曲坂・黒瀬	2階第1会議室
21日(火)	陰地1班~4班	
22日(水)	陰地5班~6班・大明神1班~2班	◎ 相談時間
23日(木)	大明神3班~6班	午前9時から
25日(土)	栃山(午前中)	午後4時30分
27日(月)	日向	
28日(火)	久須見・西洞	◎ 持参品
3月1日(木)	中谷・加舎尾	筆記用具、印鑑
2日(金)	上親田	関係書類 ・生命、建物などの 保険料の支払証明
3日(土)	この日は、税務署から通知の あった人のみを対象とします。 (消費税相談コーナー設置) (場所 村民センター農業研修室) (時間 午前10時~午後3時半)	・水稲被害証明 ・医療費領収書 ・森林施業計画証明 ・源泉徴収票など
4日(日)	大口(午前中)	
6日(月)	下親田・中通(下)	
7日(火)	神付・中通(上)	
8日(水)	平1班~3班	
9日(木)	平4班~6班	
10日(金)	平7班~9班	
11日(土)	平10班(午前中)	
13日(月)	平11班~12班	
14日(火)	前日までに申告が済んでいない人	
15日(水)	申告・納付期限 (この日までに申告納付されない場合は、加算税(金)などがかります)	

今年も所得申告のシーズンを迎えました。
六十三年度の所得の申告が必要な人や、所得税の還付申告をされる人は、必要な書類を用意して、二月十六日から三月十五

2月16日から3月15日
申告は早めに



これまで村民センター二階会議室で申告、相談を受けていましたが、今年と同じ階の森林組合第一会議室に変更しました。
忙しい人ほど早めに準備を

日までには会場へお出掛けください。申告相談も併せて行っています。
受付会場が変更しました

申告の受付期間は約一か月ありますが、混雑を避けて日程がビッシリ組まれています。表①

忙しい人ほど、申告に必要な証明書、領収書を早めに整え確認しておかれるとよいでしょう。
相談日に合わせてお出掛けを

指定相談日までに数日あるからといって、のんびり構えてはいられません。予定日はすぐにやってきます。
あわてて申告に出掛けられると、証明書がなかったりして、一回で済む申告でも、数回余分に足を運んでいただくかなくてはなりません。

申告が必要な人は……
①事業所得や山林所得などがある人
②二か所以上から給与を受けている人
③給与所得者で、年末調整がされていない人
④給与所得者で、給与以外の所得がある人
⑤給与の収入金額(年収)が千五百万円を超える人
⑥土地などの譲渡所得のある人
⑦そのほか、申告が必要な所得のある人

こんな場合税金が戻ります

所得税の控除で、年末調整でできないものについて確定申告をすれば、源泉徴収された所得税が戻ることがあります。次に掲げる場合がその主なものです。
①自分で住むために、住宅ローンで家を新築、増改築した場合
②自己または自己と生計を共にする配偶者や親族のため一定金額以上の医療費を支払った場合
③年の途中で退職し、その後就職しなかった人で、源泉徴収税額がある場合
④災害や盗難にあった場合などが挙げられます。

詳しくは、役場税務係へおたずねください。

五加東工区 登記簿閉鎖

五加東工区(柏本・久須見)の換地処分が行われ、一月十三日に公示されました。
このため、一月十四日から登記簿が閉鎖されています。
閉鎖期間は約三、四か月間かかりますが、既に登記が完了した越原上工区(大明神)の場合で、七十二日間閉鎖されました。
換地処分は、地区内の土地すべてを登記し直します。よって閉鎖中は登記に関する一切のことができませんのでお知らせします。

毎月十五日を

将棋の日

将棋クラブは、今年迎えた第十一回の新春将棋大会を契機に、毎月十五日を「将棋の日」と定め、会員はもとより大勢の愛好者を募って、対局を楽しむことになりました。
将棋を通じて、物事の全体の動きや形勢について、判断する力を養ってはいかがでしょうか。
一月三日の大会の結果は次のとおり▽一位 大坪証明▽二位 今井倉太▽三位 安江英之

今月の図書

ふるさとのことば ②



嫁を生きる 井吹 仁美著

憎み、厭い、そして愛し……。姑との四十年間の暮らしを虚飾を捨てて綴る。嫁姑、家族問題等を、今鮮烈に問いかける書。嫁姑のかかわりの物語りとして一人でも多くの人たちに読んでいただき作者がどのように姑との生活に感謝の毎日を過ごされたか。心暖たまる手記として紹介します。

わたしのソフィア 宮城まり子著

宮城さんが、実際に訪れた外国の街ソフィア。そこで出逢ったマリアとのふれあいとおして学びとった知識と、愛とやさしさの思い出を話しかけてくれる読者の園長の立場からハンディキャップを背負う子に、教えられることがあまりに多いことに自分の甘ったれさを、恥じて書かれた読みものでもあります。

★よ う る 「行きようる」「書きようる」「歌ようる」などと、その動作がいま進行していることを表現します。飛騨地方では「ようる」と引つ張らないで「よる」と発音するようですが、いず、にしても、岐阜県ではこのあたりから飛騨にかけて多く使われ、全国では奈良県吉野郡、和歌山県日高郡、広島県比婆郡、岡山県、山口県祝島、愛媛県などにも分布する珍しい言葉です。

もともとこの言葉は、補助動詞「おる(居)」の変化したものとされて、います。単独の表現はなく、必ず各種の動詞に接続して、その動きが進行中であることを示します。最初に挙げた「行きようる」を標準的な日本語にしてみました。「行きつつある」とするよりほかに言葉が見当たりませんが、日常こんな堅い言葉は使いません。だから「よる」は作用が進行中であることを表現するの



「よる」で、極めて便利な言葉だということができます。また、この表現はさまざまに変化します。次にその一部を掲げてみます。「行きよいでる(行きつつありなさるの意で、敬意を含みます)」「行きよいでる(来つつありなさるの意で、敬意を含みます)」「登りよいうって(登りつつあって)」「切りよいでた(切っていらつしやったの意で、敬意を含みます)」「来よおらなんだ(来るといふ動作が進行中であることを打ち消す意ですが、適当な言葉が見当たりません。「来る気配がなかった」とでも言ったらいいでしょうか)」「起きようらん(起きようとしていない、即ち、起きない)」「言よいういでた(言いつつあった。即ち、言っていない)」「言よいういでた(言いつつあったの意で、敬意を含みます)」など……大切に残したい言葉です。

郷土に眠る名水・名勝・名木を求めて その10

おんたけの見える道

= 下野林道 =



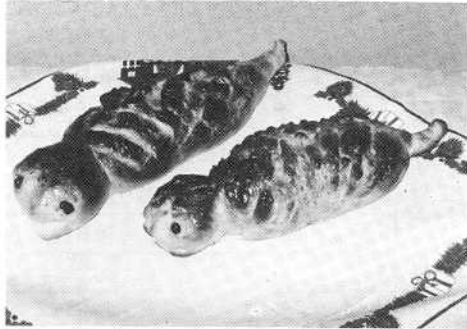
雲が切れた一瞬を300mmレンズで捕える

三千六十三メートル 岐阜、長野県境にひとり孤高を保つ御岳山は私たちの村から直線距離で、わずかに三十キロメートル足らずである。しかし、私たちの村からこの山を見ることは少ない。それは、いわゆる裏木曾と呼ばれる二千メートル近い山なみが、幾重にも重なり、白川やその支流の谷沿いに暮らす私たちの視界をさえぎっているからである。しかし村内にも、この御岳山の展望をほしいままにすることが出来る場所がある。そのひとつが下野林道である。下野林道といっても、その起点は久須見にある。昨年の夏祭り以来一躍有名になった「五介の瀧」のすぐ手前を右へ入る、カーブを三つ四つと曲りながら進むと、右手にしっかりと展望が開けて来る。

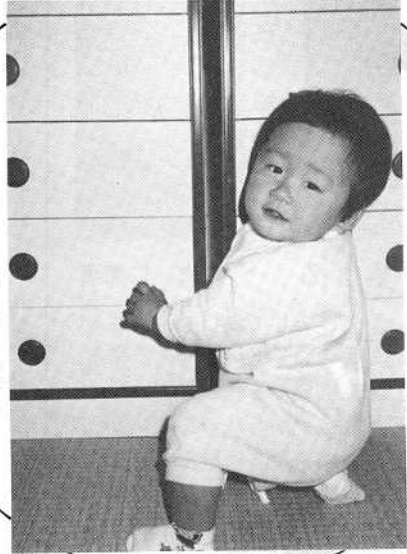
さらにその上の稜線のかなたちょうど目の高さくらいに、純白の雪化粧をした御岳山が顔をのぞかせていた。その姿は、霊峰という名にふさわしく毅然としてはいるが、また少し気恥しそうでもある。西の方向(岐阜県側)の斜面はいかにも深そうな雪のスクロップ。頂上直下から中央は岩肌が荒々しい絶壁。東(長野県側)は御岳高原へと続く比較的なだらかな斜面。きっかり三等分されたその姿は、やはり神の存在を信じさせる厳しさがあふ。この林道をさらに進むと、栢本から下野は目の下で、東白川村の半分は見渡せるというおもしろ林道、それが下野林道だ。

今通って来た久須見の集落があるか眼下に見える。そしてその向こうに、神付や中谷の集落とその周辺の農地が、緑の山を虫が食ったように

私の作品

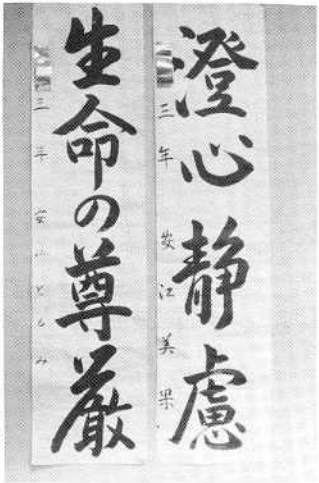


▲めおと夫婦 ツチノコ (“パン”) 神戸啓子さん (平)

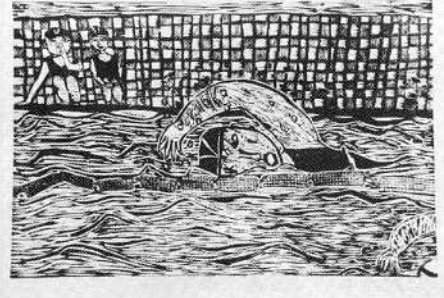


古田宗一郎くん (一歳) 久須見晃裕・かほるさん (長男)

すくすく育て



▶書き初め
東白川中学校
三年 安江美果さん (平)
安江ともみさん (平)



▶版画
東白川小学校
六年
古田奈美さん (平)

短歌



あなたの作品をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月20日までに、神戸伊藤重雄宛に出してください。

- 定年の寂しさ知らず年明けて山に通へる道をあけゆく
安江 香
- 山裏は峡さむざむと冬霧立ち終日昏し寒陽気山
田口 巽午
- 風邪臥しの床に聞き居り痛む足曳きつつ夫の水汲む音
安江 幸
- 錦華鳥子育て始む巢の中に雛は寄り添ひささやき遊ぶ
安江 竜玉
- 雨雲の冷たき日々に冬を越す一羽の鴨が池に遊べり
早瀬 久子
- 新しく造りて呉れし老の部屋匂ふ木の香に心和めり
早瀬 勇造
- 友が呉れし朱竹の貼り絵額に入れ部屋に飾りて歳を迎ふる
田口 一枝
- 道しるべ苦むしたりて残り居り左は佐見へ右は加子母へ
安江 よし江
- せかせかと雪解け待ちて長の子は田起しすると下ラクターに乗る
安江 澄
- 藍青の空に透かして木守りの柿の実朱し昼しづまれり
今井 かな
- 店頭石田ころ柿売られ居り母の生家も石田なりしよ
伊藤 美枝
- 軒下にたわわに並ぶつるし柿茶の香ただよふ思ひを思ふ
安江 守平
- 祖母母会の小学校へ道すがら加子母山ははつきりと見ゆ
安江 すみよ
- ボケ防げに十年励みし縫製をやめる日近し雪曇りつづく
伊藤 重雄
- 十燭の裸灯囲み家族みな夜業に励みし冬の灯なつかし
三戸 きり
- 昭和といふ御代のいろいろ放映す忘れ居しことみな懐しき
東京 桂川 熊吉
- 黄の柚子を味噌に合はせて山の味冬の生活は年寄りじみて
村雲 うめ
- 村おこし涙ぐましも五介くん、土へびまでも手伝ふといふ
山川 洵
- 明治より四代の生を頂きし老残無能を如何にか遂げむ
田口 良三

正照 前号田口良三作中 おはりつつは まほりつつの誤りにて まほるはむさぼり食うこと。